



grass valley

# EDIUS<sup>®</sup> X

EDIT ANYTHING. FAST.

## リリースノート

Software Version 10.00.6571 (2020年9月版)

[www.grassvalley.com](http://www.grassvalley.com)

## サポートする OS について

Windows 7 はサポートされません。EDIUS X は Windows 10 上でのみご利用いただけます。

## Windows Defender SmartScreen がインストーラの起動を停止する場合

Windows Defender SmartScreen がインストーラの起動を停止する場合は下記の手順を実行してください。

- 1) インストーラを右クリックし [プロパティ] を選択します。
- 2) [デジタル署名] タブを開き"GRASS VALLEY K.K."のデジタル署名があることを確認します。
- 3) [全般] タブを開き [許可する] をチェックします。
- 4) [適用] をクリックし、続けて [OK] をクリックします。
- 5) もう一度インストーラを起動します。

## EDIUS X の動作環境

本バージョンの動作環境は以下の通りです。

CPU	AVX2 をサポートする第4世代 Intel CPU 以降 または 同等の AMD CPU
メモリー	8GB 以上(4K / 8K 編集には 16GB 以上)
ハードディスク	EDIUS のインストールに 6GB 以上、 映像用に SSD または SATA / 7,200rpm 以上のドライブが必要
グラフィックス	1GB 以上、4K / 8K 編集には 2GB 以上のビデオメモリーが必要。 1024x768 32-bit 以上に対応 Direct3D 9.0c 以降および PixelShader3.0 以降に対応
サウンド	WDM に準拠したサウンドデバイスが必要
光学ドライブ	Blu-ray や DVD を作成するには、対応したドライブが必要
インターネット環境	インストール、アップデート、ライセンス認証、および、ユーザー登録、サポートに必要 ※EDIUS Pro はライセンス認証のため定期的なインターネットへの接続が必要。
OS	Windows 10 64-bit version 1903 以降

※動作環境は予告なく変更される場合があります。

## 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

### EDIUS X Pro 及び EDIUS X Workgroup

- バックグラウンドレンダリング。
- バックグラウンドエクスポート。
- GV Job Monitor(バックグラウンドレンダリング及びエクスポート用)。
- レイアウトターのモーショントラッキング機能。
- NVIDIA 製グラフィックカードを使用した H.265/HEVC エクスポート。
- VST Plug-in サポートを強化。
- GUI の視認性を向上。
- 操作のパフォーマンスを向上。
- マルチカムオーディオ同期のエンジンを高速化。

### EDIUS X Workgroup のみ

- 8K プロジェクト設定。
- 8K ファイルのエクスポート。

### EDIUS X Pro

- ドラフトプレビュー。  
※EDIUS 9 では Workgroup のみの機能でしたが、EDIUS X,では Pro 及び Workgroup でお使いいただけます。

### Mync

- GUI の視認性を向上。

## EDIUS 9 との相違点

EDIUS 9 と本バージョンとの間で変更された仕様は以下の通りです。

### EDIUS

- 下記の設定の既定値が変更されました。

区分	設定	既定値	
		EDIUS X	EDIUS 9
システム設定	[アプリケーション] > [プロジェクトプリセット] > [プリセット設定ウィザード] > 「オーバースキャンサイズを0%に設定する」	ON	OFF
ユーザー設定	[アプリケーション] > [タイムライン] > [プレビューしているフレームを Out マーカーに含める]	ON	OFF
	[プレビュー] > [再生] > [すべてのフィルターとトラックを表示してエフェクト設定のプレビューを行う]	ON	OFF

	[ユーザーインターフェース] > [ボタン] > [プレーヤー (ファイルモード)- 左] > [入力プリセット 1]	非表示	表示
--	---	-----	----

- [補間設定] > [最近傍法] の計算方法を変更しました。  
※EDIUS 9 で作成した既存のプロジェクトには旧計算方法が使用されます。
- EDIUS のインストーラは Codec Option をインストールしません。  
※サードパーティ製ツールで HQ/HQX を使用する場合は別途 Codec Option のインストールが必要です。
- QuickTime for Windows は使用されなくなりました。  
※詳しくは制限事項をご覧ください。
- 下記の入出力デバイスはサポートされなくなりました。  
Generic OHCI、古い GV 製ハードウェア (Storm 3G 及び Storm Pro を除く)、Matrox 製ハードウェア  
※Storm 3G ELITE はサポートされなくなりました。
- 下記の古いフォーマットの入出力及びブラウザはサポートされなくなりました。  
GF、Infinity、FLV
- 下記の機能はサポートされなくなりました。  
CD / DVD のリッピング、After Effects プラグインブリッジ、Sony 製ツールとの連携、Disc Burner のジャストシステム ラベルマイティとの連携
- 下記のツールは除外されました。  
EDIUS Watch、MPEG TS Writer

## Mync

\*仕様変更はありません。

## 既知の障害

本バージョンと EDIUS 9 との相違点は以下の通りです。

### EDIUS

- EDIUS が使用中のファイルを上書きエクスポートしようとするとう失敗する。
- 50p/60p クリップの場合、ソースタイムコードのフレームの値として常に偶数が表示される。
- EDIUS.exe をマルウェアだと判定するセキュリティソフトがある。
- プロキシ作成を停止すると EDIUS が作りかけのプロキシファイルを読み込んでしまう。
- Dolby Digital Professional / Plus でエンコードしたものを EDIUS で再生すると、音量が変わる。
- プロジェクトがネットワーク上にあり且つオフラインの場合、最近使ったプロジェクトの表示に時間がかかる。
- プロジェクト設定で音声を 32bit にしていると、クリップレンダリングできない。
- レンダリング中に EDIUS で再生操作を行うと短時間応答なしになる場合がある。
- In/Out 点間のレンダリング中にシーケンス全体のレンダリングを行い、タイムラインをスクラブするとレンダリングが処理されない。

## Mync

\*既知の障害はありません。

## 制限事項

### EDIUS / Mync

#### QuickTime for Windows の非サポートによる対応フォーマットの制限

EDIUS X では QuickTime for Windows のサポート (QuickTime Essentials のインストールによる対象ファイルの取り扱い) 終了に伴い、下記フォーマットのファイルは扱えません。

静止画: Flash Pix, Mac Pict, QuickTime Image

動画 (MOV): M4V および他のコーデックの MOV ファイル

動画 (MOV): 3GP, 3G2 (エクスポート)

音声: MOV (Linear PCM, AAC を除く), QuickTime Audio

### 重要

上記ファイルが含まれているプロジェクトを EDIUS X で読み込んだ場合、それらはオフラインになります。